

「問題行動を未然防止！育てる教育相談」研修講座―第1日目―を実施しました。

実施日：6月1日（木）

### 【本講座の目的】

児童生徒の自己指導能力を育成するために、集団指導に焦点を当てた理論と方法を学び、学校生活の様々な場面で児童生徒を援助できる資質能力を育成する。

### 講義・演習「集団のアセスメントとその対応」



国立大学法人茨城大学教授の渡部玲二郎先生を講師に招き、渡部先生自らが作成に携わった心理検査のガイドブック等を使って集団のアセスメントを進める具体的な方法や、アセスメントした集団を育てるためにソーシャルスキルトレーニングを導入した実践例を提示していただきました。渡部先生の講義及び演習を通して、問題行動を未然に防止するために集団を育てていくことの意義や大切さを、受講者全員で共有しました。

#### 〈受講者の感想〉

- ・学級の子どもたちを、いじめや暴力行為などをしない集団にしていくためには、客観的なデータに基づくアセスメントをしていくことが大切であると分かりました。
- ・ソーシャルスキルトレーニングの一つであるアサーション（自分も相手も大切に自己表現のあり方）トレーニングの意味や進め方が理解できました。トレーニングを導入する時期や内容を吟味しながら、実践してみたいと思います。

### 講義・演習「共同体感覚を育てるクラス会議」

「共同体感覚」とは、「所属感」や「信頼感・安心感」、「相互尊敬」等の、意識や態度の総体を言います。個々の児童生徒の「共同体感覚」を育て、学級の雰囲気づくりに資する方法の一つとして、「クラス会議」の研修をしました。

クラス会議を通して集団を育てるために、互いを大切にする伝え方や聴き方、及び物事を肯定的に見ていこうとする態度等を、児童生徒に養っていく演習を実施しました。その後、クラス会議のよさを受講者の先生方が実感できるように、ロールプレイを実施しました。



#### 〈受講者の感想〉

- ・私はクラス会議の進め方にばかりこだわっていました。しかし、本日の講義や演習から、個人の課題に対して、みんなで何とか解決しようと話し合えるような学級の雰囲気をつくっていくことが大切であると実感できました。